

JP Nikon Capture Ver. 4.2 へバージョンアップされたお客様へのご案内

Nikon Capture 4 Ver. 4.2 では、ニコンデジタルカメラ D2X に対応いたしました。Nikon Capture 4 Ver. 4.2 で追加された新しい機能は次のとおりです。

自動アップデート (Mac OS 9 を除く)

Nikon Capture 4 (Ver.4.2) をインストールすると、自動的に Nikon Capture 4 などの更新情報をチェックするニコンメッセージセンター (Nikon Message Center) というソフトウェアがインストールされます。ご使用のパソコンがインターネットに接続されているときに Nikon Capture 4 を起動すると、ニコンメッセージセンターは更新情報などをチェックします (初期設定)。更新情報がある場合は、Nikon Message Center ダイアログが自動的に表示されます。

ソフトウェアアップデートする場合のご注意

ソフトウェアアップデートする場合、ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境である必要があります (Mac OS 9 を除く)。また、インターネットサービスプロバイダの使用料や電話料金がかかることがあります。

接続状態の解除について

モデムや ISDN のターミナルアダプタでダイヤルアップ接続をしてソフトウェアアップデートする場合、アップデートが終了しても、Nikon Capture 4 は接続状態の解除を行いません。手動で接続状態の解除を行ってください。

プライバシーポリシーについて

お客様の個人情報を本サービスにより提供された場合、お客様の同意なしに第三者に開示することはありません。

メニューから Nikon Capture 4 を更新する場合

[ヘルプ] メニューの [オンライン] から [ソフトウェアのアップデート] (ニコン キャプチャー 4 カメラコントロールは [ヘルプ] メニューの [ソフトウェアのアップデート]) を選択すると、[ソフトウェアのアップデート] ダイアログが表示されます。[今すぐ更新チェック] ボタンをクリックすると、「Nikon Message Center」が起動し、ご使用のソフトウェアの更新情報などをチェックできます。[アプリケーション起動時に自動的にチェックします] チェックボックスをオンにしておけば、Nikon Capture 4 の起動時に、更新の有無を自動的に確認することもできます。

インターネットをご利用の方へ

下記アドレスのホームページ上で、サポートの情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm>

クイックツール (使用説明書 : P.14)

クイックツールの「自動コントラスト」が「自動明るさ補正」に変更されました。このボタンを押すと、「色変換」パレットの [自動] ボタンが実行されます (13/21 ページ参照)。



ツールパレット (使用説明書 : P.12、37)

ツールパレットの初期設定の配列が次のように変わりました。また、[表示] メニューの [カラーバランスパレットを表示] を選択すると、[カラーバランス] パレットが表示されます。



ツールパレットの検索

[表示] メニューの [ツールの検索] を選択すると、[ツールの検索] ダイアログが表示されるようになりました。

ツールを選択して [ツールを開く] ボタンを押すと、選択したツールパレットが表示され、パレットが開きます。



[名前] または [場所] をクリックすると、リストの表示を名前、またはツールパレットでソートすることができます。



☑ [取り消し]、[やり直し] メニューについて

ツールパレットの操作を変更したい場合や誤操作をした場合などには、[編集] メニューの [取り消し] を選択すると操作を取り消すことができます。また、[やり直し] を選択すると、取り消した変更をやり直すこともできます。最新の操作からさかのぼって操作を取り消したりやり直すことができます。ただし、その操作の数はメモリー (RAM) 容量や実行した操作の種類によって異なります。記録される一連の操作は、ウィンドウを閉じたとき、または、ニコン キャプチャー4 エディタを終了したとき破棄されます。

マルチイメージウィンドウ (使用説明書 : P.23)

マルチイメージウィンドウのツールボタンが次のように変更されました。



● サムネイルエリアが閉じているとき

戻る

前のフォルダへ戻ります。

進む

次のフォルダに進みます。

前へ

前の画像をイメージエリアに表示します。

次へ

次の画像をイメージエリアに表示します。

● サムネイルエリアが開いているとき

フォルダの選択

[フォルダの参照] ダイアログを開き、マルチイメージウィンドウで開くフォルダを選択します。

戻る

前に開いていた 1 つ前のフォルダをマルチイメージウィンドウに表示します。

進む

前に開いていた 1 つ先のフォルダをマルチイメージウィンドウに表示します。

選択した画像を削除

サムネイルエリアで選択した 1 枚または複数の画像を削除できます。

設定を適用

選択した画像に行った画像調整を、他の画像に適用します。画像調整を行った画像を選択した後、Shift キーまたは Ctrl キー (Windows) / キー (Macintosh) を押しながら画像調整を適用する画像を選択します。

ボタンを押すと、最初に選択した画像の画像調整がすべての画像に適用されます。また、複数のサムネイルを選択後にこのボタンを押すことでツールパレットが操作可能となり、複数の画像を同時に編集することもできます。

サムネイル一覧の切り換え /

サムネイルエリアのサムネイル表示を、一列で表示するか、複数行で表示するかを切り換えます。

ソート

ソートキー

フォルダ内の画像を [ファイル名]、[撮影日]、[更新日時]、[ファイル形式 + ファイル名]、[ファイル形式 + 撮影日]、[ファイル形式 + 更新日時] でソートすることができます。[ファイル形式 + . . .] でソートすると、ファイル形式ごとにそれぞれの項目でソートされます。ファイル形式は NEF、JPEG、TIFF の順番です。

ソート順

ソートの順番を [降順] にするか、[昇順] にするかを選択できます。


サムネイル表示サイズ

サムネイルエリアのサムネイルの表示サイズをスライダーの移動により 5 段階で変更することができます。

お気に入りフォルダ

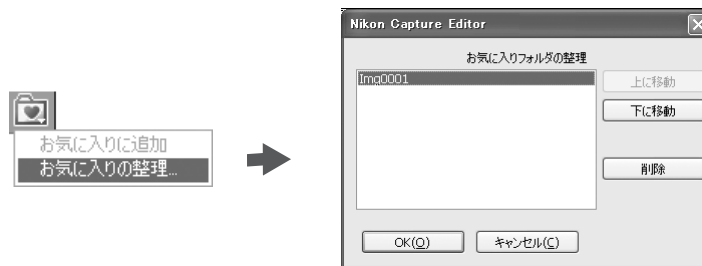
開いているフォルダを「お気に入り」欄に追加します。よく使うフォルダを登録しておくとう便利です。



「お気に入り」に追加されたフォルダは、ツールボタンに表示されます。 をクリックすると、フォルダが開きます。



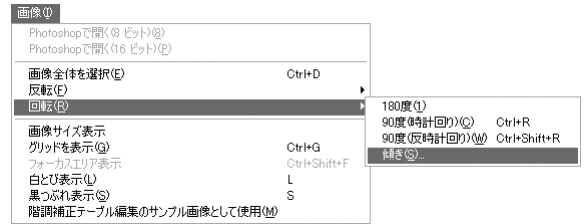
「お気に入りの整理」を選択すると、順番の入れ換えや削除ができます。



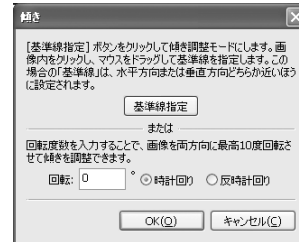
画像の傾き補正

画像の傾きが補正できるようになりました。画像の傾きを±10度の範囲で補正できます。

1 [画像] メニューの [回転] から [傾き] を選択します。



2 [傾き] ダイアログが表示されます。



● [基準線指定] ボタンを使用して傾きを補正する場合



[基準線指定] ボタンをクリックすると、イメージエリアの画像上のマウスカーソルが傾き補正カーソル☒になります。



画像をクリックした後、傾きを補正する方向(縦方向、または横方向)にマウスをドラッグして基準線を指定します。



指定した基準線が水平または垂直になるように±10度の範囲で傾きが補正されます。補正された回転角度は [回転] テキストボックスに表示されます。

● 回転度数を入力して傾きを補正する場合

回転する方向(時計回りまたは反時計回り)を選択した後、回転させる度数を入力します。±10度の範囲で補正できます。

3 [OK] ボタンを押します。

✍ 基準線の指定について

[基準線指定] ボタンを使用して傾きを補正するときに「指定された線が短すぎます。」というメッセージが表示された場合は、基準線を長く指定してください。

✍ 補正後の画像サイズについて

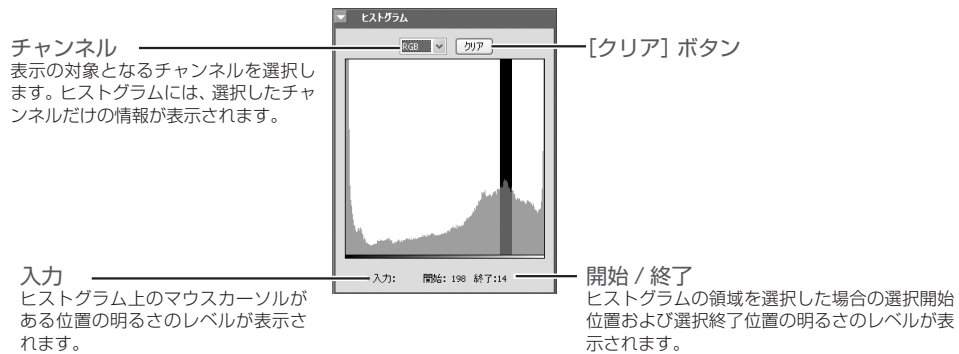
傾きを補正しても、画像サイズは元画像と同じです。また、傾き補正時に発生した余白は黒く塗りつぶされ、はみ出た部分は切り捨てられます。

✍ 補正前の状態に戻すには

傾きを補正前の状態に戻す場合は、[傾き] ダイアログの [回転] ダイアログボックスに 0 を入力してください。

表示されている画像のヒストグラム

イメージエリアに表示されている画像のヒストグラムを表示できるようになりました。ヒストグラムは、[ツールパレット 3] の [ヒストグラム] パレットで確認できます。



■ ヒストグラムの領域を選択する

ヒストグラム上で、マウスをドラッグすると、現在選択しているチャンネルのヒストグラム領域を選択できます。領域を選択すると、その領域に含まれる画素がイメージウィンドウに点滅して表示されます。領域の選択を解除する場合は、[クリア] ボタンをクリックします。



📎 クロップツールを使用した場合について

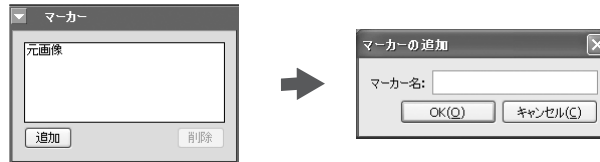
クロップツールを使用した場合、クロップツールで選択した範囲の画像のヒストグラムが表示されます。

画像調整を行った画像にマーカーをつける

画像調整後にマーカー（画像調整内容の登録）を追加することにより、そのあとに別の画像調整を行った場合でも、マーカーを追加した時点の画像調整状態に戻ることができるようになりました。

1 画像の調整を行った後、[ツールパレット 3] の [マーカー] パレットを開きます。

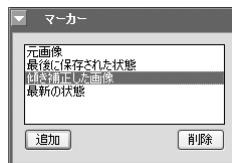
2 [追加] ボタンをクリックしてダイアログを開きます。



3 [マーカー名] を入力して、[OK] ボタンをクリックすると、この時点での画像調整がマーカーに登録され、入力したマーカー名が一覧に表示されます。



追加したマーカー名を選択すると、その時の画像調整の状態に戻ることができます。



追加したマーカー名を一覧から削除する場合は、削除したいマーカー名を選択して、[削除] ボタンをクリックします。

マーカーについてのご注意

マーカーを付けた画像を NEF 形式で保存すると、画像調整の履歴を削除するまでマーカーは保持できます。マーカーを付けた JPEG、TIFF 画像は、画像を閉じると追加したマーカーが無くなりますので、画像調整の履歴を残したい場合は、NEF 形式で保存してください。

【元画像】、【最後に保存された状態】、【最新の状態】

[マーカー] パレットの [元画像] を選択すると、元画像が表示されます。[最後に保存された状態] を選択すると、[保存] または [名前を付けて保存] メニューを使用して保存した画像が表示されます。[最新の状態] を選択すると、最後に調整した画像を表示することができます。

フォーカスエリア

[画像] メニューの [フォーカスエリア表示] を選択すると、CPU レンズを装着したデジタル一眼レフカメラで撮影したときに使用したフォーカスエリアが表示されるようになりました。



フォーカスエリアは、赤いフォーカスフレームで表示されます。

画像①	
Photoshopで開く(8ビット)(G)	
Photoshopで開く(16ビット)(P)	
画像全体を選択(E)	Ctrl+D
反転(F)	
回転(B)	
画像サイズ表示 グリッドを表示(G)	Ctrl+G
フォーカスエリア表示	Ctrl+Shift++
白とび表示(L)	L
黒つぶれ表示(S)	S
階調補正テーブル編集のサンプル画像として使用(M)	

✎ [フォーカスエリア表示] について

次の場合、[フォーカスエリア表示] は選択できません。

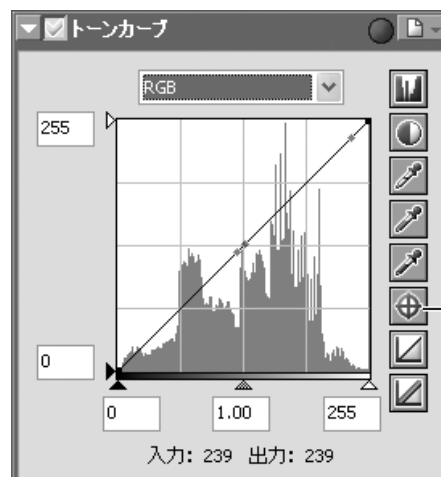
- COOLPIX シリーズで撮影した画像の場合
- 非 CPU レンズを装着して撮影した画像の場合
- マニュアルフォーカスで撮影した画像の場合

追加 RAW 調整のカラー設定 (使用説明書 : P .55)

カラー設定のモードを変更しても作業用色空間は変わりません。使用する作業用色空間は、オプション (環境設定) の [カラーマネージメント] パネルにある [標準 RGB 色空間] で変更できます。

[トーンカーブ] パレットの変更 (使用説明書 : P .65)

[トーンカーブ] パレットに「トーンカーブポイントボタン」が追加されました。トーンカーブポイントボタン (⊕) をクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、トーンカーブ上に新しいポイントを追加することができます。



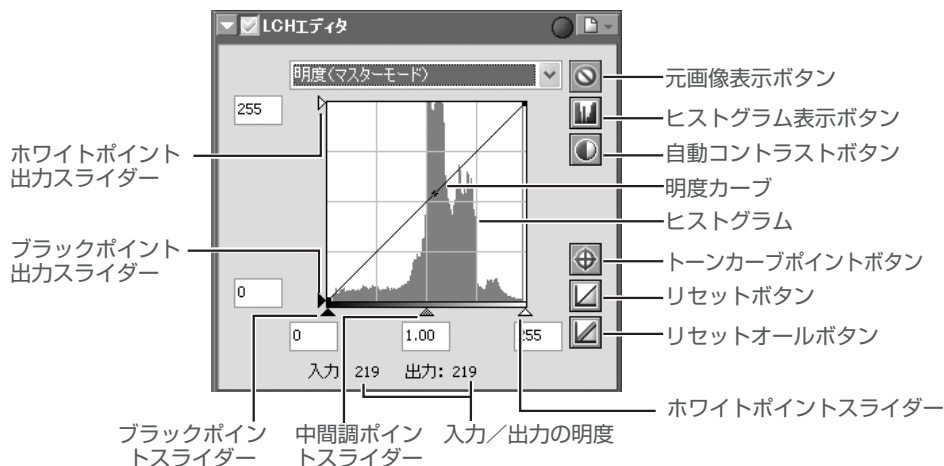
トーンカーブポイントボタン

【LCH エディタ】パレットの変更 (使用説明書：P.75)

【LCH エディタ】パレットが次のように変更されました。

【明度 (マスターモード)] チャンネル

【明度 (マスターモード)] チャンネルは、色相と彩度を変えずに明暗の調整を行うことができます。スライダーによる調整や、明度カーブを直接編集して調整します。【明度 (マスターモード)] チャンネルの基本操作は、トーンカーブパレットと同様になります。



明度カーブ

カーブの傾き、形を変更することにより、画像の明暗を調整します。

ヒストグラム

それぞれの入力明度で表示されている画素の分布を表示します。横軸が明度 (0 ~ 255) で、縦軸が画素数を示します。

ホワイト / ブラックポイント出力スライダー

出力レベルの最大値 (ホワイトポイント) / 最小値 (ブラックポイント) を設定します。

ホワイト / ブラックポイントスライダー

入力レベルの最大値 (ホワイトポイント) / 最小値 (ブラックポイント) を設定します。

中間調ポイントスライダー

明度の中間調 (ガンマ値) を設定します。

入力 / 出力の明度

ヒストグラムが表示されているエリア上または画像上でマウスカーソルを動かすと、マウスカーソルが位置する明度の入力 / 出力値が表示されます。

元画像表示ボタン

ボタンが押されている間、明度 (マスターモード) を調整する前の元画像が表示されます。

ヒストグラム表示ボタン

ボタンをクリックすると、画像に調整を適用した場合のヒストグラムを表示します。もう一度クリックすると、前の表示に戻ります。

自動コントラストボタン

画像の最も明るい階調域と最も暗い階調域にある一定数の画素を階調域から除外してブラックポイント / ホワイトポイントを設定し、コントラストを高めます。階調域から除外する画素の割合は、[オプション (環境設定)] ダイアログボックスの [詳細画像処理設定] タブで変更します (初期値は 0.5% です)。

トーンカーブポイントボタン

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、明度 (マスターモード) カーブ上に新しいポイントが追加されます。トーンカーブを直接編集する場合に便利です。

リセットボタン

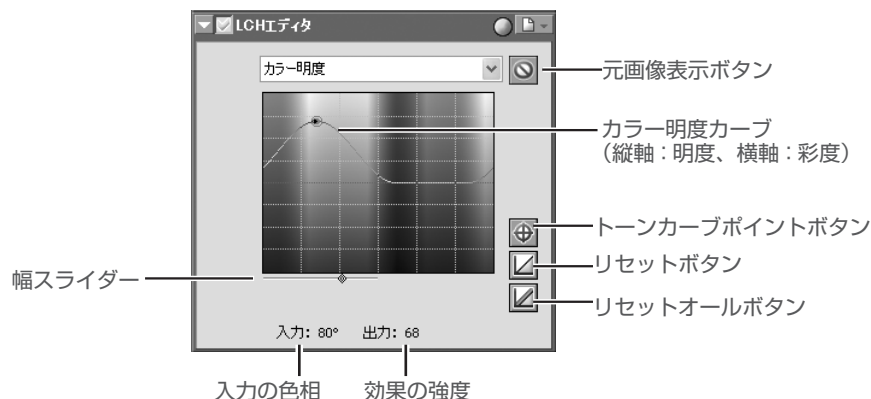
明度 (マスターモード) のカーブを直線にリセットします。

リセットオールボタン

明度 (マスターモード)、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。

【カラー明度】チャンネル

【カラー明度】チャンネルは、特定の色の明暗を調整することができます。例えば、暗い空の色を色相と彩度を変えずに明るい空の色に変更することが可能です。



元画像表示ボタン

ボタンが押されている間、カラー明度を調整する前の元画像が表示されます。

カラー明度カーブ

カラー明度カーブ上でマウスカーソルを動かし、調整したい色のポイントを上方にドラッグすると明度が上がり、下方にドラッグすると明度が下がった状態になります。

幅スライダー

カラー明度カーブの幅を設定します。右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、カラー明度調整を行う色の範囲が広くなります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、カラー明度調整を行う色の範囲が狭くなります。

入力の色相

エディタ上または画像上でマウスカーソルを動かすと、マウスカーソルが位置する色相の入力値が表示されます。

効果の強度

色相の明度を調整した入力値に対する効果の強度が表示されます。

トーンカーブポイントボタン

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、カラー明度カーブ上に新しいポイントが追加されます。トーンカーブを直接編集する場合に便利です。

リセットボタン

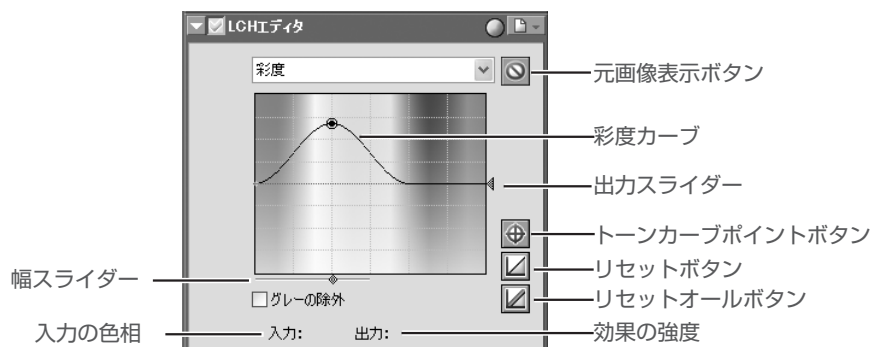
カラー明度のカーブを直線にリセットします。

リセットオールボタン

明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。パネルは [明度（マスターモード）] に戻ります。

【彩度】チャンネル

[彩度] チャンネルは、色のあざやかさ（彩度）の調整が可能です。特定の色や画像全体をあざやか（彩度が上がる）にしたり、薄い（彩度が下がる）状態にすることができます。

**元画像表示ボタン**

ボタンが押されている間、彩度を調整する前の元画像が表示されます。

彩度カーブ

彩度カーブ上でマウスカーソルを動かして、調整したい色のポイントを上方にドラッグすると彩度が上がり、下方にドラッグすると彩度が下がった状態になります。

幅スライダー

彩度カーブの幅を設定します。右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、彩度調整を行う色の範囲が広がります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、彩度調整を行う色の範囲が狭くなります。

グレーの除外

チェックボックスをオンにすると、彩度調整を行う対象からグレーの領域が除外されます。グレーに近い色の彩度は変化しないため、彩度を大きく上げたときにグレー部分の色かぶりを抑えることができます。

出力スライダー

設定した彩度カーブ全体を上下方向にシフトします。上に動かすと、全体の彩度が上がり、下に動かすと、全体の彩度が下がります。

入力の色相

エディタ上または画像上でマウスカーソルを動かすと、マウスカーソルが位置する色相の入力値が表示されます。

効果の強度

色相の彩度を調整した入力値に対する効果の強度が表示されます。

トーンカーブポイントボタン

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、彩度カーブ上に新しいポイントが追加されます。トーンカーブを直接編集する場合に便利です。

リセットボタン

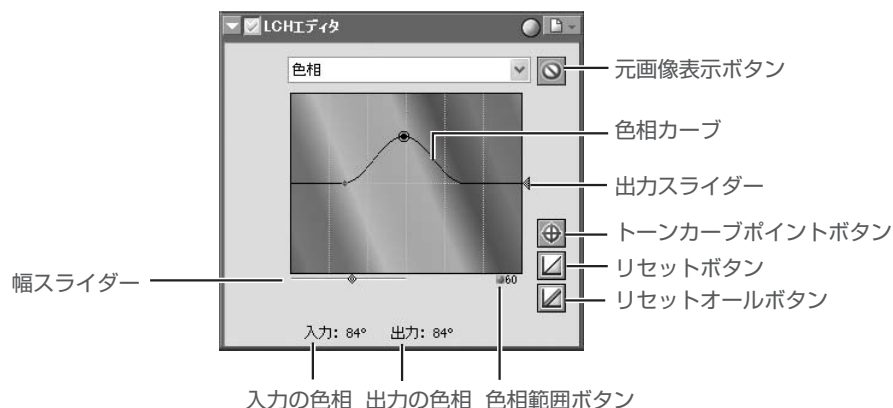
彩度のカーブを直線にリセットします。

リセットオールボタン

明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。パネルは [明度（マスターモード）] に戻ります。

【色相】チャンネル

【色相】チャンネルは、特定の色や画像全体の色合い（色相）を変更することができます。例えば、うすい色の空を紺碧の青空に変更することが可能です。



元画像表示ボタン

ボタンが押されている間、色相を調整する前の元画像が表示されます。

色相カーブ

色相カーブ上でマウスカーソルを動かし、変更したい色のポイントを目的の色のポイントへドラッグすると、色相が変わります。

幅スライダー

色相カーブの幅を設定します。右に動かすと、調整したい色のポイントを中心としたカーブの幅が広がり、色相調整を行う色の範囲が広くなります。左に動かすと、カーブの幅が狭くなり、色相調整を行う色の範囲が狭くなります。

色相範囲ボタン

色相表示エリアの縦軸に表示される色相の範囲を、60度、120度、180度から選択します。この角度は、表示可能な全ての色相を360度とし、そのうちの縦軸上で選択可能な色の割合を意味します。角度が大きくなると選択できる色相が増え、角度が小さくなると色相が減り、微妙な調整がし易くなります。

出力スライダー

スライダーを上下に動かすと、画像全体の色相が変わります。色相範囲ボタンで60度が選ばれている場合は、±60度、120度の場合は、±120度、180度の場合は、±180度の範囲で変更が可能です。

入力／出力の色相

エディタ上または画像上でマウスカーソルを動かすと、マウスカーソルが位置する色相の入力／出力値が表示されます。

トーンカーブポイントボタン

ボタンをクリックした後に、画像上の任意の場所をクリックすると、色相カーブ上に新しいポイントが追加されます。トーンカーブを直接編集する場合に便利です。

リセットボタン

色相のカーブを直線にリセットします。


リセットオールボタン

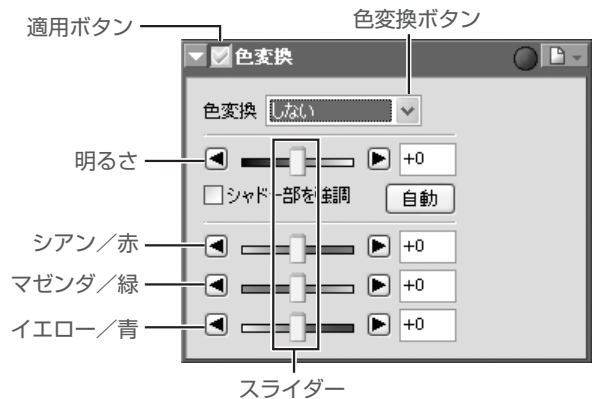
明度（マスターモード）、カラー明度、彩度、色相のすべてのカーブをリセットします。パネルは「明度（マスターモード）」に戻ります。

【色変換】パレットの追加

ツールパレットに【色変換】パレットが追加されました。【色変換】パレットでは、画像全体の明るさ、カラーバランスなどの基本的な画像調整ができます。また、カラーで撮影した画像をモノクロ、セピア色に変換したり、スライダーを使用して画像に色付けを行うことができます。ただし、【トーンカーブ】パレットと異なり、階調範囲の一部だけに変化を与えるような細かい調整はできません。

操作手順

- 1 [表示]メニューの【ツールパレット1を表示】を選択して表示されたツールパレットの【色変換】の左側にある  をクリックすると【色変換】パレットが開きます。



- 2 適用ボタンがオン になっていることを確認します。
- 3 次の操作で、明るさやカラーバランスの調節、色変換を行います。

色変換

しない

色変換は行いません。各スライダーで明るさとカラーバランスを調整できます。

モノクロ

画像をモノクロに変換します。明るさスライダーを変更すると、画像全体の明るさとコントラストを調節できます。

セピア

画像をセピア色に変換します。明るさスライダーを変更すると、画像全体の明るさとコントラストを調節できます。カラーバランスの調節はできません。

その他の色味

画像をモノクロに変換します。明るさスライダーを変更すると、画像全体の明るさとコントラストを調節できます。また、3つの色（赤、緑、青）の各スライダーを使用して、モノクロ画像を着色することができます。

画像全体の明るさとコントラストを調節する

明るさスライダーは画像全体の明るさとコントラストを調節します。スライダーのつまみをプラス方向に動かすと、画像のすべての色の明るさとコントラストが増します。マイナス方向に動かすと、画像のすべての色が暗くなります。-100から+100までの明るさのレベルは、スライダーの右側にあるテキストボックスに直接入力できます。

シャド一部を強調

このチェックボックスをオン にすると、画像のシャド一部を強調します。

自動

ボタンをクリックすると、カラーバランスは変えないで明るさとコントラストを自動調整します。【シャド一部を強調】チェックボックスは自動的にオンになります。

カラーバランスを調節する


明るさスライダーは画像全体の明るさとコントラストを調節しますが、3つの色（赤、緑、青）の各スライダーを使えば、各色の明るさを個々に調節して、画像のカラーバランスを調節できます。たとえば、赤スライダーのつまみをプラス方向に動かすと、画像の赤い部分がより明るくなり、画像は全体として赤みを増します。マイナス方向に動かすと画像の赤い要素が抑えられ、他の色を目立たせます。

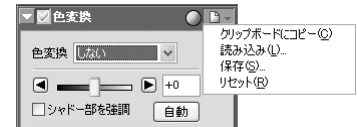
-100から+100までの各色のレベルは、スライダーの右側にあるテキストボックスに直接入力できます。

■ 色変換設定のサブメニュー

サブメニューを使うと、[色変換] パレットで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。また、[色変換] パレットの設定をデフォルト（初期値）に戻すこともできます。

サブメニューの表示方法

[色変換] パレットの右にある設定ボタン  をクリックすると、[色変換] サブメニューが表示されます。



クリップボードにコピー

現在設定している [色変換] パレットの内容をクリップボードにコピーします。

読み込み [保存] で保存した設定を読み込みます。

[読み込み] を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、色変換ファイル（Windows では「.npe」という拡張子がつきます）を選択します。現在の [色変換] パレットの設定が、選択した色変換ファイルの設定に変わります。

保存 色変換の設定をファイルに保存します。保存した設定は、[読み込み] で呼び出せます。

[保存] を選択すると、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します（ファイル名には「.npe」という拡張子がつきます）。

リセット すべての設定値を 0 に戻します。

最近使用されたファイル

直近に使用された色変換ファイルが新しい順に最大 4 ファイル表示されます。リスト内の色変換ファイルをクリックするとその設定が現在の画像に適用されます。

【設定】メニューからのサブメニュー表示

[設定] メニューの [色変換] サブメニューからメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行うこともできます。

【ノイズリダクション】パレットの変更 (使用説明書 : P.88)

[ノイズリダクション] パレットの設定方法が次のように変更されました。

カラーノイズリダクション

主に高感度撮影時に現れるざらつき感を低減することができます。

適用量

スライダーを左右に動かすことにより、0 から 100 の範囲で設定できます。1 以上の値を入れると、処理が行われます。数値を上げる (スライダーを右側に移動する) と、画像全体のざらつき感が低減され、なめらかな状態になります。

シャープ

スライダーを左右に動かすことにより、0 から 10 の範囲で設定できます。[適用量] を上げすぎると、なめらかになりすぎて解像度がないような画像になりますが、[シャープ] の数値を上げると、解像度 (質感) を高めることができます。

処理方法

[高速] または [高画質] から選択します。[高画質] の場合、[高速] よりも処理時間はかかりますが、精度の高い処理を実行します。

エッジノイズリダクション

境界部に生じるノイズを低減したり、エッジ部分の輪郭をより鮮明にすることができます。チェックボックスをオン にすると、エッジノイズリダクション処理が行われます。

モアレリダクション (RAW 画像のみ)

規則正しい模様が重なりあっている箇所などに生じる色モアレを低減することができます。プルダウンメニューから [なし] [弱] [標準] [強] のいずれかを選択します。


ノイズリダクションを行う場合は、画像全体への影響を確認しながらレベルを選択してください。



[D-Lighting] パレットの追加

ツールパレットに [D-Lighting] パレットが追加されました。D-Lighting は、逆光やスピードライトの光量不足などで暗くなり隠れて見える被写体を明るく調整したり、明るくなりすぎて白くとび気味の画像のハイライト部分の階調を調整する場合に使用します。

操作手順

1 [表示] メニューの [ツールパレット 1 を表示] を選択して表示されたツールパレットの [D-Lighting] の左側にある  をクリックすると [D-Lighting] パレットが開きます。

2 適用ボタンをクリックしてオン にすると、D-Lighting 処理が行われます。



処理方法は [高速 (HS)] と [高画質 (HQ)] から選択できます。

高速 (HS)

高速で D-Lighting 処理を行います。[高画質] よりも短い時間で調整を行うことができます。

調整

暗い部分、および白とび気味のハイライト部分を調整します。スライダーの右側のテキストボックスに数値 (0 ~ 100) を入力して調整することもできます (初期値は 25 です)。

カラーブースタ

調整後、D-Lighting に適した彩度を調整する場合に使用します。カラーブースタスライダーを左右に動かすことにより、0 ~ 100 の範囲で彩度を調整します。

高画質 (HQ)

高品位で D-Lighting 処理を行います。処理に時間はかかりますが、[高速] よりも細かい調整を行います。



シャドー調整

画像の暗い部分を明るく調整します。シャドー調整スライダーを左右に移動、またはスライダーの右側のテキストボックスに数値 (1 ~ 100) を入力して調整します (初期値は 50 です)。数値が大きいほど明るくなる度合いが大きくなります。

ハイライト調整

白く飛び気味のハイライト部分のコントラストを補正し、ハイライト部分の階調を調整することができます。スライダーの右側のテキストボックスに数値 (1 ~ 100) を入力して調整することもできます。

カラーブースタ

シャドー調整、ハイライト調整後、D-Lighting に適した彩度を調整する場合に使用します。カラーブースタスライダーを左右に動かすことにより、0 ~ 100 の範囲で彩度を調整します。

階調がない画像

撮影した画像の暗い部分や明るい部分に階調がまったくない場合 (完全に黒くつぶれていたり白く飛んでいるような場合) は、D-Lighting を使用しても効果は得られません。


Digital DEE で調整した画像について

D-Lighting は、Nikon Capture 4 バージョン 4.1 以前の Digital DEE に相当する機能です。Digital DEE で調整を行った NEF 形式の画像をバージョン 4.2 のニコン キャプチャー 4 エディタで開いても、Digital DEE の効果は反映されません。D-Lighting を使用して再度調整を行ってください。

■ D-Lighting 設定のサブメニュー

サブメニューを使うと、[D-Lighting] パレットで設定した内容をファイルに保存したり、読み込んで使うことができます。また、[D-Lighting] パレットの設定をデフォルト（初期値）に戻すこともできます。保存や読み込みの対象となる設定には、範囲選択も含まれます。

サブメニューの表示方法

[D-Lighting] パレットの右にある設定ボタン  をクリックすると、[D-Lighting] サブメニューが表示されます。



クリップボードにコピー

現在設定している [D-Lighting] パレットの内容をクリップボードにコピーします。

読み込み [保存] で保存した設定を読み込みます。

[読み込み] を選択すると、[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。ドライブとフォルダを指定し、D-Lighting ファイル (Windows では「.ndl」という拡張子がつきます) を選択します。現在の [D-Lighting] パレットの設定が、選択した D-Lighting ファイルの設定に変わります。

保存 現在の [D-Lighting] パレットの設定をファイルに保存します。保存した設定は、[読み込み] で呼び出せます。

[保存] を選択すると、[名前を付けて保存] ダイアログが表示されるので、保存先とファイル名を指定します (ファイル名には「.ndl」という拡張子がつきます)。

デフォルトに戻す

現在の [D-Lighting] パレットの設定がリセットされます。

最近使用されたファイル

直近に使用された D-Lighting ファイルが新しい順に最大 4 ファイル表示されます。リスト内の D-Lighting ファイルをクリックするとその設定が現在の画像に適用されます。

[設定] メニューからのサブメニュー表示

[設定] メニューの [D-Lighting] サブメニューからメニュー項目を選択して、設定の保存や読み込みを行うこともできます。

【画像サイズ】ダイアログ

【画像】メニューの【画像サイズ表示】を選択すると、【画像サイズ】ダイアログが表示されるようになりました。【画像解像度／画像サイズ】パレットで画像解像度や画像サイズを変更していない場合、撮影時の画像サイズのみがピクセル単位で表示されます。画像解像度や画像サイズを変更した場合は、変更した画像サイズがピクセル単位で表示されます。



保存時の TIFF ファイル形式について (使用説明書 : P.103)

TIFF (RGB) の画像を保存する場合、圧縮方法を非圧縮と LZW 圧縮から選択することができるようになりました。LZW 圧縮を行うことで、元画像の画質を劣化することなくファイルサイズを小さくすることができます。

TIFF 形式 (16-bit) ファイルを LZW 圧縮で保存するときの注意点

TIFF 形式 (16-bit) ファイルを LZW 圧縮で保存した場合、元のサイズより大きくなる場合があります。

【名前を付けて保存】ダイアログ (使用説明書 : P.105)

【名前を付けて保存】ダイアログに【埋め込み ICC プロファイル】が追加されました。



【埋め込み ICC プロファイル】

保存する画像に ICC プロファイルを埋め込むか、埋め込まないかを選択できます。チェックボックスをオン にすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。画像調整を行っていない画像、またはすでに ICC プロファイルが埋め込まれている画像の場合は、自動的にチェックボックスがオン になります。NEF 形式のファイルには使用できません。

バッチ処理 (使用説明書 : P.119、121)

バッチ処理の [画像処理] セクションに [自動明るさ補正] と [自動カラーブースタ] が、[保存先] セクションに [埋め込み ICC プロファイル] と [非同期保存] が追加されました。



画像処理セクション

[自動明るさ補正]

[色変換] パレットの [自動] ボタンをクリックしたときの補正を行い、バッチ処理が行われます。[適用しない]、[常に適用]、[設定が初期値の場合に適用] から補正の実行を選択できます。[設定が初期値の場合に適用] を選択すると、[色変換] パレットの [明るさ] または [シャドウ部を強調] の変更が設定されている画像、[トーンカーブ] または [カラーバランス] パレットの変更が設定されている画像には [自動明るさ補正] は適用されません。

[自動カラーブースタ]

[カラーブースタ] パレットの [自動] ボタンをクリックしたときの補正を行い、バッチ処理が行われます。[適用しない]、[人物を選択時、常に適用]、[人物を選択時、カラーブースタが初期値の場合に適用]、[風景選択時、常に適用]、[風景を選択時、カラーブースタが初期値の場合に適用] から補正の実行を選択できます。

保存先セクション

[埋め込み ICC プロファイル]

保存する画像に ICC プロファイルを埋め込むか、埋め込まないかを選択できます。チェックボックスをオン にすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。

非同期保存セクション

[非同期保存]

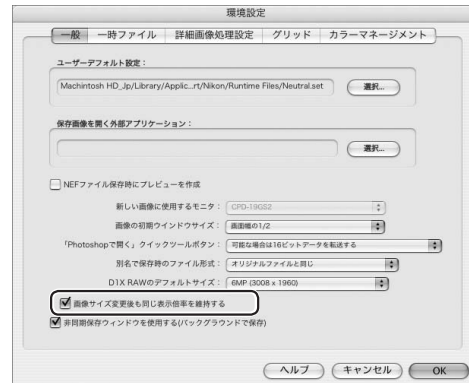
[非同期保存] ウィンドウの [保存処理] パネルに表示される、バッチ処理中の画像をまとめた処理の名前を指定できます。

【オプション (環境設定)] ダイアログ (使用説明書 : P.125)

【オプション (環境設定)] ダイアログの [一般] パネルに [画像サイズ変更後も同じ表示倍率を維持する] が追加されました。



Windows



Macintosh

【画像サイズ変更後も同じ表示倍率を維持する】

チェックボックスをオン にすると、[画像解像度/画像サイズ] パレットで画像の解像度やサイズを変更したときに画像の表示倍率を変更しないで再表示します (イメージウィンドウの大きさが変わります)。

表示倍率が 16% で解像度が 300ppi の画像



チェックボックスをオンにして
解像度を 150ppi に変更した場合



表示倍率は 16% のままで、イメージウィンドウが小さくなります。

チェックボックスをオフにして
解像度を 150ppi に変更した場合



表示倍率が 33% となり、イメージウィンドウの大きさは変わりません。

【ダウンロードオプション】ダイアログ (使用説明書 : P.155)

[Nikon Capture Camera Control] ウィンドウの [ダウンロードオプション] ダイアログに [埋め込みICCプロファイル] が追加されました。

**[埋め込み ICC プロファイル]**

保存する画像に ICC プロファイルを埋め込むか、埋め込まないかを選択できます。チェックボックスをオン にすると、ファイル保存時に ICC プロファイルが埋め込まれます。

表示をAdobe Photoshop(バージョン7.0以降)と一致させる方法(使用説明書:P.209)**モニタプロファイルの設定について (Windows のみ)**

Nikon Capture 4 で画像ファイルを保存し、その同じ画像ファイルを Adobe Photoshop で開いたときに、Nikon Capture 4 の表示と Adobe Photoshop の表示との間で色を一致させるためには、Adobe Photoshop のカラーマネジメント設定と Nikon Capture 4 のカラーマネジメント設定を合わせる必要があります。Nikon Capture 4 Ver. 4.2 より、すでにモニタプロファイルを OS で設定している場合は、この設定を行う必要がなくなりました。